



お知らせ

新年度より 教育警察常任委員会 副委員長に就任

委員会の役務とは教育関係及び、警察の問題提起をし、改善策を討議する委員会です。

魅力ある学校にと、高森高校に漫画学科を新設。来年度の開設を目指し全国から募集。他、通学路の整備、トイレの洋式化。教員の不足問題、安心安全な暮らしが出来る熊本実現の為警察官の増員等を前年度は議論しています。

高速交通ネットワーク整備 特別委員会委員を兼務

空港アクセス道路、西回りバイパス、中九州横断道路、他県内の道路の整備等を推進しています。

熊本県議会2月定例議会

令和4年2月18日～3月16日(27日間)で開催されました。当初予算は、創造的復興に加え、半導体産業の更なる集積に向けた取組みや、DXいわゆるデジタルトランスフォーメーション、移住定住の推進など将来を見据え、熊本の発展に向けて必要な事業について計上。一般会計予算の総額は県政史上最大の9,030億円となりました。

以下、本会議に於ける池永議員の一般質問概要を記載しました。

一般質問

中九州横断道路の推進

質 現在、中九州横断道路は大部分県内で約4割の区間が開通している。TSMCの進出効果を高めるためにも、国と連携して進めることが大切。効果的な地域経済活性化や、具体的な利用促進のための本道路の早期整備と今後の取組を知事に尋ねる。

答 (知事) 九州の東西を結ぶ本道路は早期整備が必要と考える。本県が日本の経済の安全保障の一翼を担うには、整備促進が必要であり、加速させることが熊本のさらなる発展につながると確信する。



空港周辺市町村に立地している半導体関連主要企業
セミコンテクノパーク内は合志市も含まれ、合志市立地の企業は東京エレクトロン始め十数社が稼働している。

質 道路の早期実現が期待される中、これを活用した観光戦略も重要である。体験型の観光、農業体験、食の探訪、特産物の売出し等も必要と思うが観光戦略部長に尋ねる。



中九州横断道路・九州中央自動車道概要図

答 (観光戦略部長) 本道路は九州を横断する周遊観光の新たな流れを生み出すと期待される。観光ムーブメントを創出し、整備効果を念頭に置きながら、熊本型観光MaaSの沿線地域での横展開、今後増加が期待されるビジネス客などの観光需要を喚起してまいらる。

*MaaSとは
情報通信技術を活用して、飛行機・鉄道・バス・船・タクシーなどの移動を最適な一つに繋ぎ、支払いも一括するなど新たな移動サービス。

国道387号及び 県道大津西合志線の渋滞解消へ

質 国道・県道で激しい交通渋滞が発生し、合志市の交通網の整備は人口増加や企業進出のペースに追いつかず、渋滞は悪化している。今後、交差点改良とともに、将来の人口増加や工場拡張等を見据えた長期的な対応として、県の対応を土木部長に伺う。

答 (土木部長) 慢性的な交通渋滞への対策として、両路線などの交差点改良に加え、南北方向の交通を分散するための都市計画道路の整備に取り組みたい。

現在、周辺幹線道路の交通量調査を行い、将来の交通量推計を行っている。今後、地元自治体と組織する菊池南部総合交通研究会で協議・検討し、交差点改良や多車線化など、短期、中長期の対策も検討する。

TSMC進出への対応と取組み

質 TSMC進出の地元への影響について、具体的な情報が少なく、適切なタイミングでの地元商工業者に対する情報提供、情報共有、意見交換に配慮して欲しい。地元商工業者との取引を常態化し、例えば企業内の清掃管理や事務用品、仕事着等の地元発注、また工場内食堂で使う食材の地元産品の活用等をお願いしたいと思う。そこで地元商工業者との連携について、商工労働部長に尋ねる。

答 (商工労働部長) 本県進出企業と県、地元自治体で立地協定を締結し、先方と定期的に情報交換を行い、信頼関係の構築に努め、積極的に情報共有を行っている。引き続き情報収集等に努め、幅広い地域や業種に進出の波及効果が拡大するように、しっかり取り組んでまいらる。

質 セミコンテクノパーク周辺は、県内の半導体の一大生産拠点である。今後、きめ細やかな対応が必要で、県の支援策を商工労働部長に伺う。

答 既立地企業へのフォローアップの他、TSMCのサプライチェーンをターゲットに誘致を積極的に進める。産学官が直接意見を交わす協議会の設置など、グローバルな視点で将来を見据えて

取り組むため「くまもと半導体産業推進ビジョン」を新たに策定し、それに基づく支援を実施する。

質 今回の進出に係る課題の一つに住居問題がある。職場と住まいが近隣にあれば、社員の利便性も高まり、周辺道路の渋滞緩和や環境配慮、健康増進にもつながる。居住場所確保に係る県の認識を商工労働部長に尋ねる。

答 (商工労働部長) 居住場所確保は、先方からも協力要請があり、重要な課題の一つ。県はこれまで「選ばれる熊本」という目標を定め、企業との信頼関係の下、ニーズに寄り添い、様々な課題に丁寧かつ迅速に対応してきた。情報を共有しつつ、取り組んでまいらる。

*TSMCとは
(台湾)セミコンダクター・マニファクチャリングの略称) 車・スマホ・パソコン・家電等の半導体製造、世界最大手。今回の進出にはソニー・デンソーが少数株主として参画。子会社Jasminで設立。2024年末までに操業開始予定

質 菊池地域は農業も盛んで、本県が農業県と言われる一翼を担ってきた。今後半導体関連企業等の進出で多くの雇用が生まれる中、心配は農業に人材が集まるかということ。食を支える農業が元気であることは県の発展に不可欠と思う。そこで県の施策展開を農林水産部長に伺う。

答 (農林水産部長) 本県では稼げる農業の確立を掲げ、循環型農業の拡大を図る。新規就農者を確保・育成する取組が不可欠で、技術や知識の習得、経営管理能力の向上等を支援してきた。魅力ある職業として選ばれるよう継続的に取組を進める。

県有地・国有地の有効活用の視点からの農業研究施設の移転等

質

合志に農業研究施設が二つも必要かとの意見がある。今後ますます交通渋滞が激化する中、類似農業研究施設は一つにし、有効活用を考える時期。土地の活用、飼料作物の作付を継続する必要性及び適地・希望地への一部移転について、農林水産部長に伺う。

答

(農林水産部長) センター内での飼料作物作付は、安定的畜産研究の継続のため一定の自給飼料確保が必要。採草地の移転等は研究の継続性確保を前提とする議論が不可欠。また、相応の対価で売却しないと県民への説明責任が果たせない。合志市がこれら課題を乗り越えたまちづくり計画をしっかりと伺い、市の動きに協力してまいる。

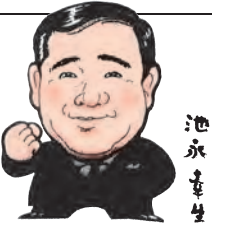
その他の議案

新型コロナウイルス対応、後遺症対策、アサリの産地偽装問題対応、空港アクセス鉄道、ヤングケアラー支援、有明沿岸道路整備等の議案が提出されました。

様変わりする合志

T S M Cの進出九州はもとより、日本のこれからを導く事業となるのではと感じています。企業進出が及ぼす影響は合志市にも波及し、若者の雇用を増加させ、人口の流入、物流の動きも活発になり、大いに経済効果を生むものと思われます。進出を国家事業と捉え、今こそ世界にシリコンアイランド九州を売り込む時期を迎えたと思います。

池永幸生 県議会議員 活動報告



合志市商工会青年部 定期総会に出席

現在会員数67名の会員を数える商工会青年部。毎年行われる青年部主催のワンパク相撲大会も、昨年はコロナの影響で中止になり、代替案としてこれ迄のワンパク相撲のフォトコンテストと、今若い人の間でブームのeスポーツに取組まれた。皆の力で乗り越え何かをやりうとす



4月15日 商工会青年部総会で開会の挨拶

る姿に、これからの合志を担っていくのだという姿を見る事が出来ました。事業承継や持続化給付金、コロナ対策等の制度も整い、そのお世話を出来る商工会と、これからの青年部とのコラボレーションを見届けたいと思います。



3月26日 憲法改正勉強会

合志商工会ウクライナ人道支援募金活動



アンビー駐車場での募金活動風景と日本赤十字社熊本県支部事務局長へ集まった募金を手渡す池永幸生商工会長



同じ地球上に共存する人々の平和を願いつつ、ロシア軍の侵攻により、恐怖の日々を送られているウクライナ国民への人道支援救済活動の輪を広げて行きたいとの目的で、さる、4月16日(土)アンビー駐車場で合志市商工会青年部・女性部・地域貢献委員会・職員メンバーで募金活動を実施しました。

奇しくも当日は6年前の熊本地震と重なり、全国各地から復興支援を頂いた感謝の記憶と共に市民の皆様が募金が集まりました。池永幸生商工会長も一日中、募金活動に参加し、合志市から人道支援の輪をさらに拡大発信していきたいと話されていました。集まった募金は日本赤十字社熊本県支部を通じてウクライナ人道支援救済金として送金されました。

4月14日

菊南ライオンズクラブから熊本大使園に「くまもとマスク」と「手指消毒液」のプレゼント。



熊本大使園にてライオンズメンバーと

4月17日

日本グランプリシリーズ第三十回金栗記念選抜陸上中長距離大会2022が「えがお健康スタジアム」で開催された。志来菜彩では熊本の銘菓・銘品を揃え好評の中、熊本をアピールすることが出来ました。



県民運動公園えがお健康スタジアムにて

参議院選挙に向けて

4月24日

今夏に行われる参議院選挙に出馬予定の自民党推薦松村よしふみ候補の合志支部が荒木市長を会長として立ち上げられ、発足式が執り行われました。これ

までも発展途上の合志市に何かと目をかけて頂き、感謝する次第です。また経済・商工業にも力を発揮され、帰熊される度に商工会事務所にも顔を出され、いろんな新規制度の説明を受けています。参議院決算委員長として活躍され、これからは大臣を目指して国内だけではなく、世界を駆け回って欲しい、最大の応援をしています。



松村参議院後援会合志支部発足式



7月に行われた参院選対会議



セミナーで来熊された河野太郎氏と

中九州高規格道路 事業化決定

4月26日

大津町にて九州横断道路、大津西ICから合志ICまでの事業化決定のお祝いが行われました。熊本JCTから合志ICまではこれまでも事業化が進められてきましたが、半導体企業の進出が決まり、この事業が一段と進められたものと思われます。この事業で熊本から阿蘇までの九州一円を結ぶ、経済を支える道路の橋掛かりができると思われます。熊本から大分までの全線開通に向けて弾みが付くものと思われます。



できました!!



地元からの要望で、県道に沿って水路があり、転落事故再発防止のためにもガードレール設置の必要性を県に相談。早急な対応で住民の方の生きた声を届けることができました。